

産業建設常任委員会

- 問** 平成19年度合志市農業集落排水特別会計補正予算について
接続世帯はどの程度か。
- 答** 平成19年度合志市農業集落排水特別会計補正予算について
接続世帯はどの程度か。
- 問** 平成19年度合志市一般会計補正予算について
（農業委員会）
農用地利用集積助成金は、借入118名に228万9,100円、借入82名に728万6,300円の助成金がある。
- 問** 道路新設改良費の減額は、低入札が数件あったが、今後は予定価格公表と最低制限価格が設けられる。



栄住宅視察

- 問** 合志市営住宅条例の一部を改正する条例について
（公益住宅から暴力団を排除するため）
当該入居者以外の暴力団員でも、通ってくる場合は、住宅に住むものとなっている。
- 答** 整備世帯685世帯中、接続世帯は612世帯で水洗化率88・9%である。



セミコンテクノパーク周辺緑地整備工事

- 問** 平成20年度合志市一般会計補正予算について
（農政課）
農振地域整備計画策定業務について。
5年ごとの見直しで、合併を機に一括化する。
- 問** 工業用地基礎調査250万円について。
工業団地用地周辺の社会資本について。
- 問** 給水量は余裕があるのか。
施設能力に余裕があるものの、1時間当たり流量集中の時間帯がある。
- 問** 平成19年度合志市工業用水道事業会計補正予算について
（建設課）
県道大津植木線久保交差点歩行者対策事業について。
県道大津植木線バイパス建設を進めるなかで、県と協議し、現道の歩道設置は市が行うことになる。



大津植木線久保歩道設置事業

- 問** 公共下水道維持管理費の減額について。
平成18・19年で浄化槽改築工事を完了しており、汚泥処分費を含め減額となっている。
- 問** 平成20年度合志市農業集落排水特別会計予算について
蘇水苑、清流館の改築予定は平成12年に供用開始。耐用年数が15年であり、12～15年経過してから行いたい。
- 問** 平成20年度合志市水道事業会計予算について
世帯数、人口が増加しているのに給水見込額が変わっていないが。
前年度の見込額を勘案し、実績に基づいた数値である。



建山2号交通安全施設整備事業

- 問** 前年度と比較した契約水量は、ソーニーセミコンダクター九州が400トン、東京エレクトロン九州が260トンの増である。
- 問** 平成20年度合志市工業用水道事業会計予算について
（建設課）
県道大津植木線久保交差点歩行者対策事業について。
県道大津植木線バイパス建設を進めるなかで、県と協議し、現道の歩道設置は市が行うことになる。
- 問** 法人税の増額は、半導体関連の需要が伸びたのが要因である。



若原汚水幹線

総務常任委員会

- 問** 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
提案の理由について。
委員の定数を現行の25人以内から29人以内に改正して、緊急時のそなえや対処などと併せ、協議会の充実を図るものである。
- 問** 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
今回の改正は税の上げ幅が大きい上に、あまりにも唐突な提案である。提案に至るまでの経過と改正によって保険税が一番高くなるのは、どのような所得層であるのか。
昨年の中頃から協議を重ねてきており、一般財源からの繰り入れも検討しましたが、国保税の性格上、税率の改正でお願いをしているところである。
また、今回の改正で保険税が高くなるのは、年収が200万から300万円の間層の方々である。

- 問** 1億2400万円の財源が不足するが、財源確保はどうするのか。また、今後の見通しは。
不足する財源については、予算の組み替えを行い、予備費、基金の繰り入れや繰越金をもって補填し、21年度からは、当初の税率に持つてゆかざるを得ないと思う。
反対討論 合併後の計画のまずさからこのような状況になり、市の責任は大きい。市民に説明のないまま値上げしたら、逆に収納率に影響がでてくるのではない。値上げするのであれば計画を立て、市民へ十分説明を果たしてから行うべきであり、更に、一般会計からの繰り入れも検討すべきであり反対である。
賛成討論 国保制度を維持していく為の修正案であり、賛成する。

- 結論**
今回の改正は税の上げ幅が大きすぎるとして、原案を修正し、税の上げ幅を削減して「可決すべきもの」と決定した。
- 問** 平成19年度合志市一般会計補正予算について
法人税の増額補正と特別旅費の内容、嘱託員報酬および区運営費補助金の減額について説明を。
法人税の増額は、半導体関連の需要が伸びたのが要因である。



- 問** 熊本市および近隣市町と取り組んでいるスマートインターチェンジの進捗よく状況は。
県からの説明では採算性が見込めるとのこと、今後は導入に向け更に努力したい。
- 問** 家庭ゴミの排出量について。
排出量は17年度が13,585t、18年度は13,168t、19年度は途中ですが11,964tである。市民一人当たりの排出量は18年度の実績で246kgとなっている、1人当たりの費用は1万4千円程の処理費を要している。
- 問** 平成20年度合志市一般会計予算について
特別旅費は、熊本市市長会の東京事務所へ派遣する職員の手当である。
また、嘱託員報酬および区運営費補助金の減額は、予算計上時の戸数より申請時の戸数が少なかったことが理由である。区への加入率は86%で、2,671戸が未加入である。